

編 集 後 記

「総合リハビリテーション」も7号になりました。この号が皆様のお手元に届く頃には、すでに梅雨もあけ、夏の太陽が輝いていることと思います。今年もまた多くの人達が海へ山へとレジャーを楽しみに出かけることになるでしょう。すでに、夏休みとレジャーは一般社会人にとっても常識になってしまったようです。しかし、車椅子に乗った人達が、同じようにレジャーを楽しんでいる光景を日本のどこで見ることができるのでしょうか。まだレジャーを楽しむべき場所へ行くことさえ困難な状況が沢山あるように思われます。

そこで、このような時期に脊損について考え直してみることかもしれません。

今回の特集は、脊損者にとって基本的な生存にかかわる褥創、尿路管理の問題、生活の基礎となるべき理学療法、作業療法、人間らしい生活への鍵である性機能につ

いて等、多彩な論文が並びました。日本の脊損者のすべてが、これらの論文の執筆者のレベルで治療される日が一日も早いことを願うものです。

今年も、リハ医学会、PT 学会、OT 学会あるいは関連する各科の学会もほとんど終わったようです。また来年を期して、日常の診療、教育研究に落ち着きを取り戻しておられる頃と思います。今年も、リハ医学会の出席者の大半は会員外、すなわち PT・OT の人達であったと聞きます。これらの人達の熱意が実りあるものになるためには、環境、体制の整備が最も望まれることでしょう。そのためには、指導的な立場にある人達の一層の理解と、御努力をお願いするとともに、リハに従事している者として医学に対する理解、医療に対する自分達の姿勢をもより厳しくしていくべき時期に来ていることを、改めて感ぜずにはおられません。 (大川 嗣雄)

次 号 予 告 (1 巻 8 号)

巻 頭 言	ジェルソミーナの石……………作家	水 上 勉
特 集	対麻痺のリハビリテーション III	
	脊損患者の心理的問題……………岡山心理学研究室	大 羽 葵
	脊損患者の職業的問題……………宮城県拓杏園	今 田 拓
	脊髄損傷者の職業に関する一側面……………都心身障害者福祉センター	星 野 昌 哉
	脊髄損傷者の就業実態—タカヤ鯛の場合—……………タカヤ株式会社	北 田 静 夫
	脊損患者のための建築的配慮……………日大理工学部	野 村 歆
	脊髄損傷患者の夏季における放熱障害……………水俣市立湯之児病院	緒 方 甫
研究と報告	電動下肢装具の開発研究の経緯……………徳島大	野 島 元 雄・他
	血友病性膝関節症に対する長下肢装具の応用……………神奈川こども医療センター	陣 内 一 保・他
講 座	筋収縮のメカニズム (3) —収縮の化学と構造蛋白—……………自治医大	大 井 淑 雄
	リハビリテーションと社会福祉 (7)	
	—児童のリハビリテーション—……………整肢療護園	大 塚 隆 二
一 頁 講 座	障害者の住める街づくり (3) ………………日大工学部	佐 藤 平
学 会 報 告	第10回 日本リハビリテーション医学会印象記……………横浜市大	土 屋 弘 吉・他